

JA みやぎ仙南
DISCLOSURE

令和3年度 中間期版

みやぎ仙南農業協同組合

※令和3年9月末現在を基準に、内容を記載しております。

目 次

1. ごあいさつ
2. 経営方針
3. 主要な業務内容
4. 直近の事業年度における主要な業務状況
5. 自己資本比率の状況
6. 金融再生法開示債権の状況
7. 有価証券時価情報
8. 地域貢献情報

< プロフィール >



みやぎ仙南農業協同組合（JA みやぎ仙南）

本店所在地	宮城県柴田郡柴田町西船迫一丁目 10-3
支店数	管理本部 1、金融共済事業本部 1、営農経済事業本部 1、 地区事業本部 7（9支店）
出資金	38億82百万円
組合員数	28,448人（正組合員 16,473人、准組合員 11,975人）
役員数	理事 21人、監事 4人、職員 283人

（令和3年9月末現在）

1.ごあいさつ

日頃、皆様には本組合の事業運営に特段のご支援とご協力を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。

本年も、当JAの経営内容を公開し組合員、利用者の皆様が安心してご利用頂けるよう、上半期ディスクロージャー誌を作成致しましたので、ご高覧のうえ、ご理解を賜れば幸いに存じます。



日本経済は、新型コロナウイルス感染対策におけるワクチン接種の進展が見られ、感染者数が最も低い水準となってきています。しかし、個人消費は一進一退の状況であり経済回復は依然として不安を抱えています。

農業を取り巻く環境も同様であり、外食需要の不振による農産物相場の下落や異常気象による農産物への被害など状況はかなり深刻であるといえます。

特産である米は、民間在庫の増加が主因で米価が大幅に下落し、ひとめぼれは2年連続の下落となりました。需要減少が進む「米離れ」にコロナ禍の影響が追い打ちをかけた形です。当JAではこうした事態に対する取り組みとして資金対応及び行政への働きかけを行う等、組合員の農業経営支援を行ってまいります。

6月に閣議決定された基本方針には、観光・インバウンドの再生、輸出を始めとした農林水産業の成長産業化を掲げ、所得の向上、活力ある農山漁村の実現、食料安全保障の確立を図ると示されました。農業に係る取り組みとしては、マーケットインやマーケットメイクの輸出戦略、生産基盤の確保・強化等が明記されています。

このような情勢を背景に、令和3年度は第七次中期経営計画の二年度として、「創造的自己改革」へのさらなる挑戦を推し進めてまいります。

第七次中期経営計画において、

- ① 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」
- ② 豊かな地域社会の創造
- ③ 地域を支えるJA経営基盤の確立

の3点を基本目標とし、経営の健全性・信頼性の確保、競争力の向上に取り組み、地域に密着したJAとしての役割を發揮し、組合員・利用者や地域住民の方々から信頼され必要とされるJAを目指してまいりますので、より一層の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



令和3年11月
みやぎ仙南農業協同組合
代表理事組合長 舟山 健一

2. 経営方針

第七次中期経営計画（令和2年度～令和4年度）

基本方針

「組合員と共に創る農業・地域の未来」
～ J A 自己改革へのさらなる挑戦～

基本目標

I. 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」

1. 地域の特徴を生かした担い手の確保と育成
2. 地域営農ビジョンの策定・実践による農業所得の拡大
3. 担い手経営体のニーズに応える個別対応の強化
4. 園芸振興などマーケットインに基づく農業生産の拡大
5. 地域農業の振興に資する営農指導体制の強化

II. 豊かな地域社会の創造

1. 組合員のアクティブ・メンバーシップの確立
2. 地域協同活動の推進
3. J A 暮らしの活動を通じた地域コミュニティの活性化
4. 組合員・利用者の期待に応える総合事業の展開

III. 地域を支える J A 経営基盤の確立

1. 自己改革の実践を支える持続可能な J A 経営基盤の確立・強化
2. 自己改革の実践を担う人材の育成と活力ある職場づくり
3. 組合員の信頼にこたえるコンプライアンス態勢の充実強化

経営管理体制

当 J A は、事業利用を目的とした農業者等により組織された協同組合であり、正組合員の代表者で構成される「総代会」の決定事項を踏まえ、総代会において選任された理事により構成される「理事会」が業務執行を行っています。また、総代会で選任された監事が理事会の決定や理事の業務執行全般の監査を行っています。

組合の業務執行を行う理事には、地区毎の正組合員代表者により推薦された者を候補者として提示し、「総代会」において選出しています。令和2年6月には役員の任期満了に伴う改選が行われ、4名の女性役員が誕生するなど、女性の声を反映する仕組みを構築しております。

さらに、信用事業については専任担当理事を置くとともに、農業協同組合法30条に規定する常勤監事及び員外監事を設置し、ガバナンスの強化を図っています。

3. 主要な業務内容

当JAは、皆さまの日常生活に欠かせない信用事業（貯金、貸出、為替）をはじめ、共済事業（生命共済、建物更生共済、自動車共済等）、経済事業（購買、販売、加工、利用等）、指導事業（営農、生活）などを総合的に展開しております。これらの事業は、営利を目的とした企業とは本質的に異なり、相互扶助を基本にしながらかメンバーである組合員はもとより、地域の皆さまの暮らしのお役に立てるよう、努力を重ねております。

■直近の5事業年度の主要な経営指標

(単位：百万円、口)

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
経常収益	7,882	7,932	7,784	8,867	8,591
信用事業収益	1,215	1,177	1,158	1,098	1,077
共済事業収益	1,158	1,218	1,148	1,084	1,001
農業関連事業収益	5,288	5,332	5,268	6,461	6,376
その他事業収益	219	204	209	222	136
経常利益	152	250	335	332	229
当期剰余金	102	55	51	114	227
当期末処分剰余金	238	220	563	658	869
出資金	4,112	4,041	3,956	3,882	3,818
出資口数	4,112,616	4,041,596	3,956,139	3,882,379	3,818,450
純資産額	7,263	7,261	7,214	7,237	7,332
総資産額	126,055	127,658	127,291	132,338	137,588
貯金等残高	112,994	114,731	114,439	119,637	125,080
貸出金残高	35,595	35,676	35,708	37,077	37,313
有価証券残高	5,952	5,949	5,955	4,955	5,941
剰余金配当金額	19	19	30	69	36
・出資配当の金額	19	19	30	37	36
・事業利用分量配当の額	-	-	-	31	-
職員数	314人	281人	266人	276人	274人
単体自己資本比率	11.48%	11.24%	10.53%	10.07%	10.04%

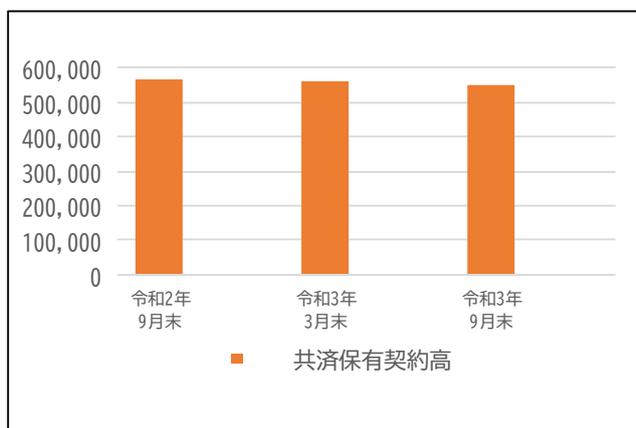
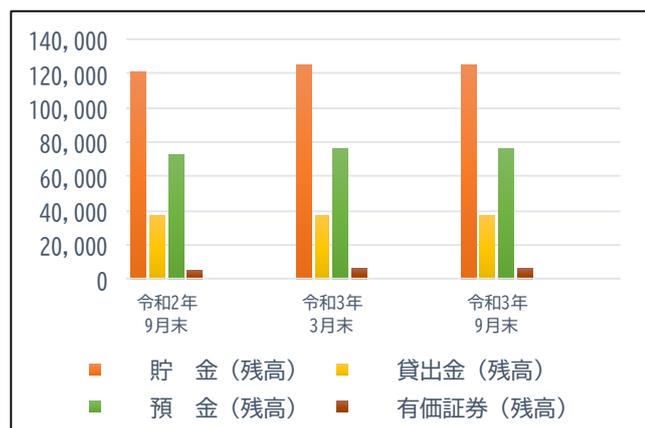
(注)

1. 経常収益は、各事業収益の合計額を表示しております。
2. 当期剰余金は、銀行等の当期利益に相当するものです。
3. 信託業務の取り扱いはありません。
4. 「単体自己資本比率」は、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」(平成18年金融庁・農水省告示第2号)に基づき算出しております。

4. 直近の事業年度における主要な業務状況

(単位：百万円)

	令和2年9月末	令和3年3月末	令和3年9月末
貯金(残高)	121,540	125,080	125,577
貸出金(残高)	37,280	37,313	37,164
預金(残高)	73,119	76,211	75,703
有価証券(残高)	4,949	5,941	5,939
共済保有契約高	569,278	560,745	553,094



5. 自己資本比率の状況

単体自己資本比率（国内基準適用）

	令和3年3月末	令和3年9月末
自己資本比率	10.04%	10.34%

（注）9月末の単体自己資本比率（推計値）は、令和3年9月末の自己資本額を算出し、令和3年3月末の信用リスク・アセット額、オペレーショナル・リスク相当額を基準に算出しています。

6. 金融再生法開示債権の状況

当J Aでは、金融再生法に基づき貸出金を貸出先の財政状態や経営成績等をもとに区分する資産の自己査定を行っております。

その結果は、下記の表の通りです。また、当J Aでは、貸倒損失に備えた貸倒引当金により保全を行い貸出債権の健全性の向上に努めています。

金融再生法開示債権（単体）

（単位：百万円）

債権区分	令和3年3月末	令和3年9月末	増減
① 破産更正債権およびこれらに準ずる債権	271	241	△ 30
② 危険債権	2	8	5
③ 要管理債権	-	-	-
④ 正常債権	37,059	36,936	△ 122
⑤ 合計	37,334	37,186	△ 147

不良債権比率	0.735%	0.671%	△ 0.064%
--------	--------	--------	----------

※ 不良債権比率 = (①+②+③) ÷ ⑤

7. 有価証券時価情報

（単位：百万円）

保有区分	令和3年3月末			令和3年9月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	5,932	6,467	535	5,929	6,449	519
その他	10	10	0	10	10	0
合計	5,942	6,477	535	5,939	6,459	519

（注）1. 9月末の有価証券の時価は、9月末日における市場価格等に基づいております。

2. 取得価額は、償却原価法適用後、減損処理後のものです。

8. 地域貢献情報

当 JA の基本理念である《「食」と「農」を未来へつなぎ、豊かなくらしと心を育み、夢と笑顔の溢れる地域づくりに貢献します。》というコンセプトのもと、地域農業の振興、自然環境保全、安全な食料生産と供給により、安心して暮らせる豊かな地域社会の創造に貢献する活動を展開しております。

また、当 JA では総合事業を展開する強みを活かして金融・共済機能サービスを提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献にも努めております。

■ 地域からの資金調達の状況

(1) 貯金の残高

組合員をはじめ利用者の皆様や、事業主の皆様からの貯金をお預かりしている残高は、以下の通りです。

令和3年9月末現在（単位：百万円，未満切捨）

<種別>	<残高>
普通貯金	73,224
定期貯金	50,919
定期積金	1,434
合計	125,577

(2) 貯金商品

貯金商品は、当座性貯金（総合・普通・当座等）から定期性貯金（定期貯金・定期積金）など各種目的・期間にあわせてご利用いただいております。

また各種キャンペーンを展開し、地域の金融機関として事業展開を行っております。

■ 地域への資金供給の状況

(1) 貸出金の残高

組合員をはじめ、地域住民の皆様に必要な資金の貸出をしております。また、農業関連産業等への貸出により、地域経済の発展・向上に貢献しております。

令和3年9月末現在（単位：百万円，未満切捨）

<区分>	<残高>
組合員	33,218
地方公共団体等	3,829
その他	117
合計	37,164

(2) 融資商品

融資の商品として、住宅ローン・マイカーローン・教育ローン等の各種ローンを取り揃えております。

農業関連経営に必要な資金として、営農組織や担い手を対象にスーパーアグリサポート資金や、農業者を対象としたアグリマイティー資金をご提供しております。さらに、制度資金等各種取り揃えておりますので、目的に合わせてご利用いただけます。また、新型コロナウイルス感染症の影響拡大を踏まえ、農業経営を維持するための資金創設や相談窓口を設置し対応しております。

■ 農業の振興と多面的機能

農業は、単に食料を生産するだけでなく、水田や畑の保水能力により水害を防止したり、多様な生態系を維持したりと、環境保全の役割も担っています。

当 JA では、このような多面的な機能を持った農業を維持発展させ、人々に安全・安心、そして新鮮な食料を提供するとともに、環境問題にも取り組んでおります。

- ・ 農業用使用済みプラスチックの適正処理推進
- ・ 農畜産物の安全・安心システム(トレーサビリティ)の徹底
- ・ こだわり米等の環境保全米の拡大推進
- ・ ポジティブリスト制への対応強化
- ・ 農業生産工程管理 (GAP) の推進

■次世代への食農教育の取り組み・JAと地域をつなぐイベントの開催

当JAでは、子どもたちに作物を育てる楽しさを知ってもらおうと、地元小・中学校の児童・生徒へ食農教育活動を行っています。青年部・女性部が中心となり、収穫まで栽培体験の指導をしています。また、令和2年度は新たに管内在住の小学生を対象とした「JA子ども大学」を開講し、身近なSDGsへの取り組みをカリキュラムに組み込むなど子どもたちの防災意識・エコ意識を高める取り組みもすすめています。



■地域の仲間作りへの取り組み

地域女性を対象とし、年間を通して食や農業、健康や暮らしに関する講座を行なう女性大学「カレッジ輝楽里」や卒業生対象講座の他に、多発している自然災害の教訓から「地域防災」に関する関心が高まる昨今、地区単位でも各種女性向け講座に防災教室を取り入れるなど、組合員をはじめ地域住民へ継続してJA事業に興味・関心を持ってもらう取り組みをすすめています。



■支店協同活動の展開

昨年度の台風被害に続き新型コロナウイルス感染拡大の影響で継続して開催してきた春のグリーンフェアや秋のJAみやぎ仙南フェスティバルは中止となりましたが、各地区事業本部単位で展開している「支店協同活動」は復興への取り組みや感染防止対策など地区独自の工夫を凝らしながら実施しました。内容は、交通安全運動や環境美化活動、手作りマスクケースの寄贈、農産物寄贈による被災地支援など様々。組合員や地域住民との結びつきを深め、地域の活性化につなげる活動に取り組んでいます。





JAみやぎ仙南のコンセプト（基本理念）

「食」と「農」を未来へつなぎ、豊かなくらしと心を育み、
夢と笑顔の溢れる地域づくりに貢献します。

JAみやぎ仙南のスローガン

かたちにしよう、みんなの夢を～Create Your Future～

存在意義

農業を通じて、生命・環境・文化を守ります。

経営姿勢

～組合員に対しての経営のあり方～
夢と活力ある地域農業の振興につとめます

～社会（地域住民・生活者）に対しての経営のあり方～
安全・安心な「食」とどけ、豊かで美しい社会をつくります

行動指針

～組合員に対しての行動指針～
熱意をもって、よりよいサービスを行います

～職員同志の行動指針～
自ら変化を起こし、チャレンジ精神をもって行動します

～社会（地域住民・生活者）に対しての行動指針～
未来をみつめ、多様に行動します





管理本部	柴田郡柴田町西船迫一丁目 10-3	(代)0224-55-1111
金融共済事業本部	柴田郡柴田町西船迫一丁目 10-3	0224-55-1288
営農経済事業本部	柴田郡柴田町西船迫一丁目 10-3	0224-55-1870
本店営業課	柴田郡柴田町西船迫一丁目 10-3	0224-55-1586
柴田地区事業本部	柴田郡柴田町槻木上町二丁目 1-15	0224-56-1212
槻木支店	柴田郡柴田町槻木上町二丁目 1-15	0224-56-1211
大河原支店	柴田郡大河原町字中島町 3-7	0224-53-1560
村田地区事業本部	柴田郡村田町大字村田字押切 107	0224-83-2291
村田支店	柴田郡村田町大字村田字押切 107	0224-83-2221
川崎地区事業本部	柴田郡川崎町大字前川字裏丁 181	0224-84-2222
川崎支店	柴田郡川崎町大字前川字裏丁 181	0224-84-2220
蔵王地区事業本部	刈田郡蔵王町大字円田字西浦上 1-1	0224-33-2115
蔵王支店	刈田郡蔵王町大字円田字西浦上 1-1	0224-33-2111
白石地区事業本部	白石市福岡長袋字八斗蒔 1	0224-25-3531
白石支店	白石市福岡長袋字八斗蒔 1	0224-25-1487
七ヶ宿支店	刈田郡七ヶ宿町字関 134	0224-37-2101
角田地区事業本部	角田市角田字町 29	0224-63-3132
角田支店	角田市角田字町 29	0224-63-3140
丸森地区事業本部	伊具郡丸森町字除 25-1	0224-72-2270
丸森支店	伊具郡丸森町字除 25-1	0224-72-1204



ホームページは
こちらです

JA みやぎ仙南

令和3年度ディスクロージャー誌（中間期版）

発行日 令和3年11月30日

編集・発行 みやぎ仙南農業協同組合 総務課

電話 0224-55-1111 FAX 0224-55-1115

ホームページ <https://www.ja-miyagisennan.jp>